

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。  
そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、  
人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。

このようなスポーツによるまちづくりについて、  
プロバスケットボールチーム・レバンガ北海道の桜井良太ゼネラルマネージャーにお話を伺いました。

再び走り始めた“北の鉄人”  
新たな立場で、  
抱き続けた夢の実現へ



レバンガ北海道 ゼネラルマネージャー 桜井 良太 さん

1983年生まれ、三重県出身。2005年にトヨタ自動車アルパルク（現アルパルク東京）に入団し、2007年に北海道へ移籍。その後レバンガ北海道創設年から2024年5月に現役引退するまで中心選手として力強く牽引した。2024-25シーズンからゼネラルマネージャーに就任。

現役引退からレバンガGM就任へ  
決断を後押ししたまちと人への想い

今年5月、2023-24シーズン限りで19年間の選手生活を終えました。現役引退を発表してから臨んだ昨季は、ブースター（ファン）の皆さんから「桜井選手のプレーに力づけられた」「勇気と元気をもらった」などの声をたくさんいただいた。あらためてスポーツのチカラや応援のありがたさ、自分がこれまでバスケットを続けてきた意味を感じることができました。そんなシーズン終盤に、チームからセカンドキャリアとしてゼネラルマネージャー就任の提案を受けて、率直に「チームに再び貢献できるチャンスだ」と感じました。北海道のまちと人への愛着心も、新たなチャレンジへの後押しになりました。

17年の年月で培ってきた絆と経験  
立場を変え、夢を再び追いかける

レバンガ北海道はチーム発足当初から地域活動に力を入れていて、僕も現役時代には毎年10校以上の学校を訪問し、子どもたちと親交を深めてきました。北海道で過ごした17年の中で、かつて交流した児童が先生になって迎えてくれたり、二世帯・三世帯で試合に足を運んでくれるようになり、育んできた絆の深まりを実感しています。この先、チームがファンや地域のために何ができるか。やはり、何よりもまず強いチームであること。勝利を届けることに尽きると思います。これまで培った様々な経験と絆を生かして「リーグ屈指の強豪チームにする」という現役時代からの夢の実現を目指し、札幌・北海道に笑顔と『明日のガンバレ』を届けられるよう全力を尽くします！

いい人、いい街  
#まいにち金メダル

さっぽろの魅力的なヒト・モノ・コトに  
金メダルを贈り合う「まいにち金メダル」プロジェクト実施中



食や自然など多くの魅力に恵まれた  
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです  
問い合わせ先  
札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036

